

トーキョーロード  
嘶家人生 山あり、谷あり

〔第21回〕

## 孝行糖

+ 文 林家木りん Text by Kirin Hayashiya +

いきなりですが、落語家は落語以外のお仕事もするんです！

前からよくやる落語以外のお仕事はと言いますと…テレビやラジオ、結婚式の司会や余興とさまざまなものがありました！

最近は少し変わってきました、まずは政治家ですね。市議会議員や市議会の議長をやっている師匠、また会社の経営、最近では若手二つ目がコーヒールー屋さんを始めるなどバラエティに富んでいます！

ちなみに僕も落語界ではいろいろ新しいことを商売とするタイプでして…。最近増えたのは企業の方に呼ばれ、講演会のお仕事、変わったところだとKIRINS BARというBARを月一（今はコロナで自粛中）でやったリポシャツを販売したりといろいろしています！

ちなみにこういう商売を最初に大々的にやり始めたのは誰かなと調べましたら、うちの師匠木久扇でした。

さすが師弟だと思いました。(笑)

その商品はないかこのコラムでも何回も出てきているご存知「木久蔵ラーメン」。こちらは1982年に当時木久蔵の師匠と横山やすしさんで全

国ラーメン党というのを結成し、一時はフランチャイズで27店舗とバルセロナ・ニューヨークにも出店したほどです！

ちなみに中国に出店しようとして総理大臣の田中角栄さんに師匠が会いに行ったのは逸話となっております。(笑)

落語家がいろいろなことをやっているのがお分かりいただけましたでしょうか？

もし何かお仕事がありましたらよろしくお願いいたします！(笑)

今日はそんな商売にちなんだ『孝行糖』というお話。

親孝行が徳になった時代、特に親を大事にしていると奉行所から表彰された与太郎。

報奨金として得たお金をもとに何か商売をさせた方がいいという、長屋の住人たちの世話で「孝行糖」という餠の行商を始めます。馬鹿で抜けたところはあつたもの、素直で周りからかわいがられた与太郎。鐘を鳴らしながら「孝行糖、孝行糖、孝行糖の本来は」と教えられるままに売り声（今でいうCMソングですね）を発し売り歩くと、「食べさせれば子どもが親孝行

になる」と評判になり大ヒット。

ある日、閑静な武家屋敷、「鳴り物禁止」との注意を聞かずいつもの調子で売り声をあげたため、怒った門番に六尺棒で殴られてしまいます。見知った顔の仲裁で事なきを得ますが、殴られて泣きじゃくる与太郎。どこを殴られたのかと聞くと…。

もうお分かりですね、答え合わせは落語本編で！

YouTube 林家キリンチャンネル  
～ときどき立川かしめ～

<https://www.youtube.com/channel/UCtibQ2n7oEC4mPR75Nd-3A>



## profile

1989年東京浅草生まれ。父は元大関・清國勝雄。  
2009年林家木久扇に入門  
2013年二ツ目昇進。  
身長192cmと、落語協会一の高身長！  
趣味は相撲、野球、読書、競馬、マラソン、空港見学。  
空港についてエッセイ、コラムを書くほどの空港マニア。  
初の著書『師匠!』発売中

